

川田市長と

まちかど

開催報告

タウンミーティング

開催概要

日時: 令和6年11月30日(土)午後3時～4時

会場: 志水公民館

参加者: 8名

テーマ: 子育て

タウンミーティングの流れ

- ① 開会
- ② 開催の目的と概要、こども・子育てを取り巻く環境について(課題整理)
八幡市で行っている子育て支援施策について、まとめ ※市長による説明
- ③ テーマについて意見交換 ※参加者と市長との意見交換
- ④ 閉会

【意見交換の主な内容】



参加者

学校現場について、教師が不足している。京都府へ働きかけを行うことや市の単費で支援を行ってほしい。

また、学校のプールに日除けが無い中で授業が行われており、学校現場の危機管理に問題がある。



市長

学校現場を含め、人手不足は課題であることは認識しています。

プール授業に関しては、順次、屋外プールではなく民間の屋内プールで指導を受けることができる民間委託を行っております。学校の先生の負担軽減につながり、屋内での授業は子どもたちにとっても好評であると聞いております。

今後も、学校現場や教育委員会とも連携してまいります。



参加者

子どもが3人いるが、1人は私立大学に通っており授業料が高い。奨学金制度で困っている世帯に応援する施策をお願いします。

また、市外の高校に自転車で通っている子どももいる。自転車道の整備がされておらず、危ない場所がある。



市長

ご指摘の通り、子どもたちの選択肢を狭めないようにする必要があります。子育て支援は小さな子どもに目を向けがちですが、高校、大学時の教育も大事であると考えます。そのようなことも含め、国へ働きかけを行ってまいります。

自転車が行きづらい道路について、特に国道1号線は車通りが多く危険です。現在、国道1号線は国所管で整備にむけて、要望を行っており、実現に向けて邁進してまいります。



参加者

子どもが絵を書くのが好きであり、小学校の授業で専門教師を配置してほしい。

また、雨の日はバスを利用するが、本数が減らされている。増便そして運賃も安くしてほしい。

高校でiPadが必要になる場合は、小学校、中学校のように貸出無料にしてほしい。また、高校の教科書代と制服代の補助がほしい。



市長

専科教員については、取り入れていきたいという意見が現場でもあり、担当部署にお伝えしてまいります。

また、高等教育での出費が家計に与える負担は大きいと思っています。市として何ができるのか考えてまいります。



参加者

出産育児一時金の額が少ない。産んだところから負担に感じるのですね。

また、市内に小児夜間救急が毎週金曜日しか無いのは不安。

そして八幡市に子供が遊べる場所がない。八幡市は、中学校の体育館は空調整備がされており、少しでも開放してほしい。



市長

出産育児一時金については、出産の保険適用化が一時期国でも議論されていましたが、最近また耳にしなくなりました。

私としても出産にかかる経済負担は軽減すべきと考えており、市としてどのような形で負担軽減できるのか、今後についても考えていきたいと思っています。

小児夜間救急は、京都府内の多くの地域で医師不足等が課題となっております。市としては引き続き医療機関と連携し充実を図ってまいります。

子どもを遊ばせるところを充実させて欲しいというお声は、色々お聞きしております。公園の遊具や屋内で遊べる場所の充実は現在、担当部署と協議しているところです。